医療法人社団 埼玉巨樹の会 新久喜総合病院



ともに vol. 7

～患者様と共に、地域の皆様と共に、職員と共に～

新年のご挨拶
地域サロン活動報告
ハワイ研修を終えて
胃胸部検診車贈呈式
整形外科のご案内
クリスマス会
院内旅行
健康診断を受けませんか





職員みんなでめざしてきたこと
～2016年4月からの新久喜総合病院の歩み

新久喜総合病院も、2016年4月の門出から2年9か月あまりが経過しました。開院当初は、忙しくなるのを承知で高い志しを持って残留し仲間に加わってくださった旧久喜総合病院の約400名と、カマチグループ九州急性期5病院などから新たな挑戦に志願した約100名の総勢約500名での船出でした。現在は、地元の650名の皆さんと、200名の九州出身者の、総勢850名の頼もしいチームに成長しました。

“断らない医療”と“質の高い医療”の実践！

患者さんが自分の家族だったらどうするか?常にこのように自問自答しつつ、職員みんなで取り組んできました。救急部など病院の一部門だけではとても実践できない課題です。病院全体でチーム一丸となって救急医療に取り組むことが必要でした。毎朝8時30分から全ての医師が集合し、前日の救急入院患者さんの検討会を行ってきました。各科の壁を取り払い、みんなで救急対応を行うことが当たり前になってきました。各科の壁を取り払うため、医局では、先生方の机は各科ごとではなく、全く違う科の先生方同士が隣り合わせるよう敢えて配置させていただきました。

色々な科の医師から、少しずつですが、嬉しい言葉を頂くようになりました。救急当直に共に取り組んでいるとき、救急対応でいろいろな症状の患者さんを診て、日常診療にたいへん役立つというご意見をいただきました。例えば、脳神経外科の先生からは、いままで専門の頭のことばかり気になって全身の状態に気を配れていなかったことを痛感しているという感想をいただきました。

医師はそれぞれの専門分野で他科の医師ができない診療に力を発揮しています。一方で、患者さんはその担当医の専門分野のみの異常をきたすわけではなく、当然、さまざまな異常をきたす可能性があるのです。したがって、主治医として自分の専門分野以外の異常にも気づいて対処しなければなりません。医師は各分野のspecialistであるとともに、generalistとして患者さんに対応することが求められます。救急患者さんを一緒に診ていただくことで、それぞれの医師のgeneralistとしての力が向上しているのです。

断らない医療と質の高い医療の実践には、医師以外の全ての職員の協力が重要です。各病棟は、おおよその専門分野別になっていますが、救急患者さんの入院に関しては、各科の壁を超えて、重症度に応じて、全ての病棟で受け入れることができる体制の構築が必要です。

全ての職員は、患者さんが自分の家族だったらどうするか、と自問自答しつつ患者さんと向き合って、人情味ある対応ができるようになっていきました。意見の相違がある場合も、どの選択肢が患者さんにとって良いのかという視点で、院内の運営が行われることを申し合わせています。

質の高い医療の実践のため、多くの院内の勉強会が立ち上がり進化しています。病院の運営にとって、職員教育は最も重要な課題です。各病棟で、救急患者さん受け入れに対応するためにも、多くの勉強会が開催されました。

医師数も少しずつですが増えてきました。開院当初34名でしたが、現在では52名の常勤医が日々奮闘しております。看護師数も350名を超え、看護師一人で患者さん2名までを診る集中治療室8床に加え、看護師一人で患者さん4名までを診るハイケアユニット（HCU）を12床設置いたしました。リハビリテーション技師も総勢120名を超え、術直後からリハビリテーションを開始し、早期回復、早期退院、早期社会復帰をしていただけるよう、土曜日、日曜日、祝祭日もリハビリテーションに取り組んでおります。

その結果、手術室で行う外科系の手術数は、当初、月間130例あまりであったのですが、少しずつ増えて、現在では毎月300例程度の手術を手術室で施行しています。全身麻酔症例数も毎月200例に達しています。

住民の皆さんも、がんの手術や心臓の手術を、都内まで行かずに地元で受けてくださる方が少しずつですが増えてきているようです。

職員のモチベーションの高まり、チームワークの醸成、そして地域の医療従事者の皆さんとの協力体制の構築、さらには地域住民の皆様からご信頼をいただき、少しずつですが、皆さんのご協力で、前に進むことができているようです。

1日あたり600名弱の利根医療圏にお住いの方が、医療圏外に入院されておられるのが、久喜市を含む利根医療圏の現状でした。地域住民の皆様が安心して地元で医療を受けていただけるよう、職員一丸となって、断らない医療・質の高い医療を実践してまいります。

今後とも引き続き、新久喜総合病院に対し、ご指導ご鞭撻賜りますようどうかよろしくお願いいたします。

新久喜総合病院　院長　岡崎　幸生

新年のご挨拶



新年あけましておめでとうございます

新久喜総合病院として生まれ変わり、約2年9カ月が過ぎました。地域の皆様には日頃よりご支援いただきありがとうございます。

さてこの度、当院はさらなる地域に根ざした医療を推進すべく、平成30年10月22日に埼玉県知事より「地域医療支援病院」として承認されました。今後も変わらず地域医療に貢献し、“24時間365日　断らない医療”を継続してまいります。

今後とも引き続きご指導ご鞭撻賜りますようお願い申し上げます。

医療法人社団 埼玉巨樹の会　理事長　蒲池　健一



新年あけましておめでとうございます

新久喜総合病院としてスタートし、4月から4年目に入ります。「24時間、365日断らない医療」をモットーに患者様の為にと職員一同、同じベクトルのもと日々精進してまいりました。今年も、病院理念であります「手には技術、頭には知識、患者様には愛を」に則り、知識・技術を磨き、相手へのこころづかい、優しさ、思いやりのこころを持って医療（看護）をさせていただきたいと思っております。そして、職員も「夢を描き、知恵を絞り、努力を惜しまず」笑顔を持って楽しく仕事ができる様な職場を作っていきたいと思います。

病院としての形は大分できました。これからは、中に魂を吹き込む、益々医療・看護の質を高め、地域の皆様に選ばれる病院を目指し、地域医療に貢献してまいりたいと思います。

今年1年が皆様にとって実り多き素晴らしい1年になりますようお祈り申し上げます。

どうぞ今年も、あたたかいご支援、ご助言をこころよりお願い申し上げます。

新久喜総合病院　看護部長　朝穂　美記子



副院長に就任致しました

これまでは、消化器内科部長として内視鏡部門を中心に院内での役割、業務のあり方を検討してきました。

これからは視野をより拡げて院内のいろいろな部署の連携が必要であると考えます。さらには地域の中核病院として、地域の先生方をはじめ医療機関や介護事業所との連携を深めて来ましたが、より一層、地域医療を充実させ、地域の皆様とともに地域完結型医療を推進して参ります。

新久喜総合病院　副院長　蒲池　良平





整形外科のご案内

整形外科は運動器の疾患を扱う診療科です。身体の芯になる骨・関節などの骨格系とそれを取り囲む筋肉やそれらを支配する神経系からなる「運動器」の機能的改善を重要視して治療する外科で、骨盤というからだの土台骨と、上肢（肩、肘、手、手指）、下肢（股、膝、足、足指）を主な治療対象にしています。

担当医師



整形外科部長

かきはな　まさたか
垣花　昌隆

獨協医科大　卒
日本整形外科学会
認定整形外科専門医



整形外科医

さいき　たつひこ
佐伯　辰彦

島根医科大　卒
救急医学会救急科
専門医



整形外科医

にしかわ　まさのぶ
西川　正修

琉球大　卒
日本整形外科学会
認定整形外科専門医

当院の整形外科では、スポーツ傷害や交通事故、労働災害などに代表される打撲、捻挫、骨折、脱臼、関節損傷などの外傷はもちろんのこと、変形性変化を伴う加齢疾患、骨粗鬆症、運動器の先天性疾患（骨形成不全症など）の診断・治療を行います。

慢性期疾患である変形性膝関節症や変形性股関節症に対しては、投薬やリハビリテーションに加え、近年進歩が著しい人工関節置換術を中心とした手術療法を行っています。これは、関節の痛みの原因となる部分を取りのぞき、人工の関節に置き換える手術です。

関節鏡を用いた肩や膝の手術も行います。肩の痛みのある方の中には、四十肩や五十肩と自己診断して病院に行かれない方も多いのですが、中には肩の筋肉が拘縮したり、腱板断裂で手術が必要な方もおられます。

またスポーツ外傷に多い膝の十字靭帯断裂や半月板損傷にも外部の正常組織の損傷の少ない関節治療を導入しています。

当院では24時間365日on call体制で救急患者に対する初期診療や緊急手術等にも対応しており、検査に問題がなければできるだけ早期に手術を行うように努めています。

お気軽に当院までご相談いただけましたら幸いです。

整形外科手術件数（H30.4.1～H30.12.31実績）

術　式	計
骨折観血的手術	339
人工関節置換術	25
人工骨頭挿入術	32
観血的関節固定術	5
関節鏡下手術	12
骨切り術	3
骨折経皮的鋼線刺入固定術	21
アキレス腱断裂手術	9
手根管開放手術	10
靭帯断裂手術	7
偽関節手術	7
骨長調整手術	3
骨部分切除術	3
関節滑膜切除術	3
一時的創外固定骨折治療術	7
その他	212
計	698

地域サロン活動報告

出張教室はじめました











新久喜総合病院では、昨年４月より地域活動の一環として、「出張健康教室」を行っております。

この教室は、地域の皆様からのご要望にお応えし、当院より開催場所へ出張させていただき当院職員による医療講座やリハビリ体操等を実施させていただいております。

地域の皆様よりご好評いただいており、おかげさまで昨年は多くの出張健康教室を開催させていただくことができました。

本年は、昨年より一層、地域の皆様の元へ出張させていただければと考えておりますので、是非お気軽にご相談ください!

地域医療部　江里原　丈博

クリスマス会





平成30年12月16日に第3回クリスマス会を開催致しました。

岡崎院長がサンタクロースに変装し、クリスマス会を盛り上げて頂きました。昨年に引き続き、越谷市音楽団の皆様にクリスマスを感じられる演奏をして頂き、患者様の中には感動からか泣いている方々もおられました。またクリスマスソングの合唱やクリスマスにまつわる○×クイズも実施し、患者様やご家族様、職員がともに交流を深められる良い機会となりました。

リハビリテーション科　西澤　大樹





第1回 ハワイ研修を終えて

看護部　永井　育子・伊藤　愛・田中　絢子







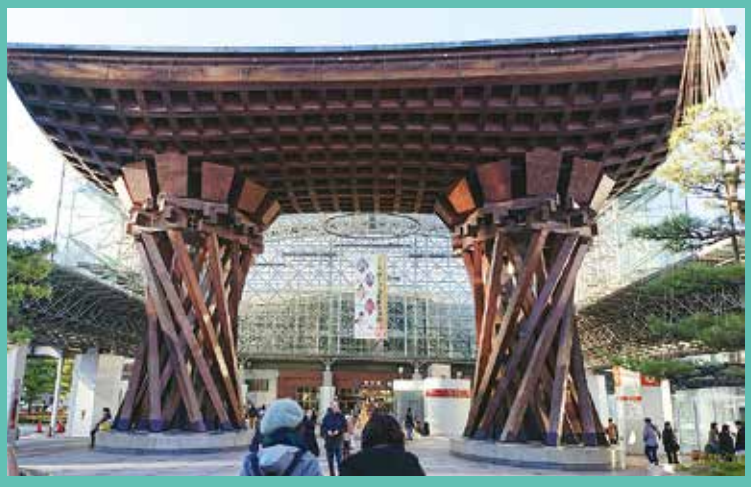


平成30年11月12日より、5泊7日のハワイ研修に参加させて頂きました。

クイーンズメディカルセンターの視察やハワイ州立大学で行われた急変された際の対応シミュレーションを通して、ハワイの医療の現状や日本の医療との違いを学ぶことができました。

ハワイ研修を通して、新たな課題や目標を見つける事ができ有意義な7日間となりました。

今回の経験を新久喜総合病院で活かし、患者様により良い医療の提供を行って参ります。









院内旅行



当院の関連病院である、原宿リハビリテーション病院の仲間と2泊3日で金沢旅行に行ってきました。『金沢だから寒いはず!』と思っていましたが、到着した日は晴天で気温も下がることなく気候に恵まれました。以前にも金沢へ行ったことがあるため、お目当ての海鮮を堪能しながらゆっくり過ごすことが出来ました。翌日はみぞれなどあり天候は不安定でしたが久しぶりに仲間との旅行は楽しかったです。

ICU看護師　師長　中川　さつき

胃胸部検診車贈呈式

全国共済農業協同組合連合会 埼玉県本部様より、
胃胸部検診車を寄贈されました。









"断らない医療"・"質の高い医療"を継続し、全国共済農業協同組合連合会の皆様方をはじめ、地域の方々に安心して検診を受けて頂き、"病気の予防"・"早期発見、早期治療"にも努めて参ります。

健康管理センター　課長　武末　圭太

健康診断を受けませんか

健康管理センターでは、人間ドックや脳ドックをはじめ様々なコースの健康診断をご用意しています。生活習慣を見直し元気な毎日を送っていただく為にも、ぜひ一度ご自身の健康チェックをおこなってはいかがでしょうか。

主なコース

- 日帰り人間ドック
- 生活習慣病に特化したコース(コース11.12.13)
- 脳ドック
- 肺ドック

検査内容

- 身体測定
- 肺機能
- 心電図
- 尿や便の検査
- 超音波検査
- 視力・聴力
- 眼底カメラ
- レントゲン
- 血液検査
- 医師の診察



※内容は各コースにより異なります。予約時にご確認ください。

追加で申し込みできるもの(オプション検査)

- 頭部MRI
- 骨密度測定
- 頸部超音波検査
- 胸部CT
- 各種血液検査(腫瘍マーカー他)

※単体ではお受けいただけません。
※予約状況によってはお受けできない日もございます。予約時にご確認ください。

お申込みからの流れ

①お申込み(電話または来院)
②案内状と検査キットの送付
③ドック受診
④検査結果の送付(約1か月)

※検査結果に応じて外来受診のご案内もさせて頂きます。







どのコースを受けたらよいのか
わからない時には、お気軽にご相談ください。
詳しいパンフレットもございます。

ご予約とお問い合わせ　http://shinkuki-hp.jp

新久喜総合病院　健康管理センター
(直通電話)0480-44-8413
月曜日~金曜日　朝8:30~夕方5:00

スタッフ募集

新久喜総合病院



新久喜総合病院は、元はJA埼玉県厚生連が経営する病院であり、開設5年の急性期病院でしたが、2016年4月1日より巨樹の会に経営移譲されグループ病院の仲間入りをし、「新久喜総合病院」として24時間365日「断らない病院」として生まれ変わりました。

病院概要

開　　設：2016年4月1日
診 療 科 目：内科／呼吸器内科／循環器内科／消化器内科／代謝・糖尿病内科／腎臓内科／神経内科／外科／肛門外科／消化器外科／心臓血管外科／呼吸器外科
整形外科／脳神経外科／乳腺外科／形成外科／皮膚科／泌尿器科／婦人科／眼科／耳鼻咽喉科／リハビリテーション科／放射線科／麻酔科／救急科／病理診断科
病　　床　　数：300床　急性期病棟：182床　ICU：8床　HCU：12床　回復期リハビリテーション病棟：98床
看 護 基 準：急性期病棟：7対1　ICU：2対1　HCU：4対1　回復期リハビリテーション病棟：13対1
救急搬入患者数：月約500件
手 術 件 数：月約300件

募集職種　**看護師・准看護師・看護助手・薬剤師・検査技師・放射線技師・臨床工学技士・社会福祉士・作業療法士**
言語聴覚士　※詳細はホームページをご確認下さい。http://shinkuki-hp.jp

■所在地　埼玉県久喜市上早見418-1　　■お問い合わせ先　TEL 0480-26-0033

人間ドックのご案内

当センターでは、地域の皆様ならびに企業等の皆様に健康で充実した毎日を送っていただけるように、生活習慣病をはじめ様々な病気の早期発見、早期治療のための健康診断をおこなっています。充実した設備と医療体制で皆様のお役に立てればと考えております。

ご自身とご家族のためにも、ぜひ人間ドックを受診して現在の健康状態を確認してみませんか。

ご予約・お問い合わせ先
健康管理センター TEL 0480-44-8413



編集後記

新年あけましておめでとうございます。
広報誌「ともに」も今回第7号を発行することができました。地域の皆さま方に新久喜総合病院を知っていただくためにも欠かせない誌であります。今後も医療情報はもちろんのこと、院内外の様々な開催風景等を掲載して参ります。まだまだ寒い時期ですので、皆さま方におかれましては、引き続き体調管理にお努めください。

地域医療部　江里原



お車の場合
県道3号、久喜市上早見の交差点を菖浦方面に曲がり約250m（久喜ICより約3分）

電車の場合
JR宇都宮線・東武伊勢崎線 久喜駅下車、徒歩約30分

バスの場合
[朝日バス]久喜駅西口から約10分
- 久西01　久喜駅西口～新久喜総合病院前～菖浦仲橋
- 久西02　久喜駅西口～新久喜総合病院（玄関）～菖浦仲橋

[久喜市市内循環バス]
- 除堀・所久喜循環
- 六万部・北中曽根循環

新久喜総合病院 広報誌
ともに vol. 7
～患者様と共に、地域の皆様と共に、職員と共に～

医療法人社団 埼玉巨樹の会
新久喜総合病院
〒346-8530 埼玉県久喜市上早見418-1
http://shinkuki-hp.jp
TEL 0480-26-0033　FAX 0480-44-8026

発行日：平成31年2月15日　　担当者：地域医療部　森 崇広